

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用されて間もない利用者様が帰宅願望や落ち着きのない様子がみられ、日によって不安な日常生活を送る日がある。	不安のない安心した日常生活を送って頂き、毎日が笑顔の多い日々を送って頂けるように支援する。	日々の生活の中でご利用者様が安心して生活を送れるように、各スタッフがその時のご利用者様の状態を把握し日常生活の中でどの様な支援が必要なのか検討しながら取り組んでいく。	6ヶ月
2	33	重度化していくご利用者様が増えていく中で、重度化への対応や終末期ケアについての方針について見直さなくてはならない。	スタッフ全員が重度化への対応や終末期ケアについて意思統一し、そのご利用者様に対して対応できる。	・ご利用者様がホームでの生活を少しでも長くできる可能性、重度化・終末期の対応におけるホームの力量や体制の整備を行っていく。 ・外部研修会に参加し、伝達研修を行い、スタッフ全員が終末期ケアについての方針を理解していく。	6ヶ月
3	48	重度化していくご利用者様が増えていく中で、レクリエーションや家事等の取り組みが少なくなってきた。	重度化していく中で、ご利用者様が出来る範囲でのレクリエーションや家事を探しメリハリのある生活を送って頂けるようにする。	集団レクリエーションにこだわらず、個別でのレクリエーションの取り組みを増やしていき、ご利用者様が出来る範囲で日常生活にメリハリをつけられるように取り組んでいく。また、スタッフは教材・研修・インターネットなどで情報収集し、ご利用者様が出来そうなレクリエーションを探し、実践していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。